

## 情報公開文書（オプトアウト）

臨床研究のうち、診療情報などの情報のみを用いる研究については、国が定めた指針に基づき、研究対象となる患者さまお一人ずつから直接同意を得る必要はありませんが、研究の実施についての情報を通知・公開し、拒否の機会を保障することが必要とされています。この方法を「オプトアウト」といいます。

当院では、内視鏡診断の正診率を上げることを目的として、下記の調査（臨床研究）を実施しております。情報に関しては、個人名が特定されない方法で収集・解析しており、患者さまのプライバシーは保護されますが、「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになる場合は、遠慮なく下記研究責任者までご連絡いただきますようお願いいたします。

研究課題名	慢性下痢患者に対する積極的かつ適正な生検による Collagenous colitis の診断率の向上に関する検討
研究責任者	町田市民病院 消化器内科 和泉 元喜
他の研究機関および各施設の研究責任者	他研究施設との調査協力はありません
本研究の目的	慢性下痢の原因のひとつである collagenous colitis が生検により診断率が向上することと、生検で診断された方の大腸粘膜の所見の特徴を調べます。
対象となる方	2014年7月から2018年8月の間に下部消化管内視鏡検査を施行した、1ヶ月以上の下痢が継続する方です。炎症性腸疾患の方は対象としません。
研究の方法	上記対象患者様における電子カルテの診療情報から、記録及び検査データを調査します。
試料/情報の他研究機関への提供及び提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用する情報	年齢、性別、既往歴、服薬内容、内視鏡検査時の写真と内視鏡・病理所見。
研究計画書などの入手又は閲覧	希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、本研究に関する研究計画書等を閲覧することができます。
個人情報の取扱い	個人が特定され得る氏名や住所等の情報はすべて削除します。調査結果は関連学会及び学術誌等で公表しますが、この際も個人情報は一切ふくまないものといたします。
収集した情報の管理責任者	町田市民病院 消化器内科 和泉 元喜
本研究の資金源（利益相反）	本調査に関連し、開示すべき利益相反はありません
お問い合わせ先	町田市民病院（代表）042-722-2230 消化器内科 和泉 元喜（調査責任者）